

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月2日

上場取引所 大

上場会社名 プリヴェ企業再生グループ株式会社
 コード番号 4233 URL <http://www.privee-g.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役(CEO)

(氏名) 松村 謙三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 辻 一馬

TEL 03-6230-0150

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,048	△23.9	△611	—	△578	—	△573	—
23年3月期第1四半期	2,692	△23.1	△132	—	△134	—	△297	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △576百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △300百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△1.66	—
23年3月期第1四半期	△0.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,910	6,719	53.5
23年3月期	11,031	7,118	58.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,840百万円 23年3月期 6,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社グループはファンド事業及び上場株式等投資事業等に注力しており、業績は相場環境、投資環境の影響を受けざるを得ない状況にあります。この事業の特殊性に鑑み業績予想を行うことは困難であるため、業績予想の記載は行っておりません。

なお、配当予想の見直しに関する開示につきましては、決算確定後から1週間を目処に行います。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

当社グループはファンド事業及び上場株式等投資事業等に注力しており、業績は相場環境、投資環境の影響を受けざるを得ない状況にあります。この事業の特殊性に鑑み業績予想を行うことは困難であるため、業績予想の記載は行っておりません。

なお、業績予想の見直しに関する開示につきましては、当第2四半期連結累計期間・当連結会計年度の各々の決算日から1週間を目処に、前第2四半期連結累計期間・前連結会計年度の実績と比較して行います。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	365,119,405 株	23年3月期	365,119,405 株
24年3月期1Q	19,072,127 株	23年3月期	19,063,232 株
24年3月期1Q	346,051,894 株	23年3月期1Q	346,090,224 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災及びその後の電力供給不足などにより企業の生産活動は著しく低下したものの、サプライチェーンの復旧に伴い徐々に回復し、消費も回復基調にあります。しかし一方で、米国景気の減速、欧州を中心とする金融不安による急激な円高等、先行き不透明な状況は依然として継続しております。

このような状況のもと、当社グループはファンド事業及び上場株式等投資事業に注力し、企業再生関連事業に積極的に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、ロジスティクス事業に係る売上高の減少などを受け、20億48百万円（前第1四半期連結累計期間26億92百万円）にとどまりました。また、コスト削減等の経営効率化を図りましたが営業利益は△6億11百万円（前第1四半期連結累計期間△1億32百万円）、経常利益は△5億78百万円（前第1四半期連結累計期間△1億34百万円）にとどまり、四半期純利益は、△5億73百万円（前第1四半期連結累計期間△2億97百万円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

上場株式等投資事業におきましては、東日本大震災によって急落した株価が買戻し基調のなかで一時的に回復はしたものの、海外の経済指標の悪化、インフレ懸念等を原因に調整色を強めた状況が続きました。当社の投資先企業の株価も同様に推移したことにより前連結会計年度から引続き売上高はなく、商品有価証券運用損の計上などにより、セグメント利益は△30百万円（前第1四半期連結累計期間△60百万円）となりました。

企業再生関連投資事業における投資対象事業の状況は、次のとおりであります。

ロジスティクス事業におきましては、営業努力により既存荷主との取引拡大があったものの、物流量の減少の影響などを受け、外部顧客に対する売上高は12億14百万円（前第1四半期連結累計期間15億28百万円）となり、コスト削減を行いました。セグメント利益は△17百万円（前第1四半期連結累計期間35百万円）となりました。

雑貨事業におきましては、積極的な営業活動を推進しハズキルーペ等の主力製品について売上の確保、新規顧客の開拓を進めたものの、外部顧客に対する売上高は6億5百万円（前第1四半期連結累計期間8億30百万円）となり、売上拡大のための販売促進費や広告宣伝費等の増額により、セグメント利益は△1億60百万円（前第1四半期連結累計期間1億83百万円）となりました。

産業機器関連・雑貨製造事業におきましては、既存製品の受注・売上確保に努めたものの、外部顧客に対する売上高は2億28百万円（前第1四半期連結累計期間3億33百万円）となりましたが、大幅なコスト削減を行ったことなどにより、セグメント利益は50百万円（前第1四半期連結累計期間12百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は109億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億20百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金等の減少であります。

負債合計は41億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億78百万円の増加となりました。主な要因は、信用取引借入有価証券の増加であります。

純資産は67億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億99百万円の減少となりました。主な要因は、四半期純損失5億73百万円の計上であります。この結果、自己資本比率は53.5%（前連結会計年度末58.2%）、1株当たり純資産額は16.88円（前連結会計年度末18.54円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループはファンド事業及び上場株式等投資事業等に注力しており、業績は相場環境、投資環境の影響を受けざるを得ない状況にあります。この事業の特殊性に鑑み業績予想を行うことは困難であるため、業績予想の記載は行っておりません。

なお、業績予想の見通しに関する開示につきましては、当第2四半期連結累計期間・当連結会計年度の各々の決算日から1週間を目処に、前第2四半期連結累計期間・前連結会計年度の実績と比較して行います。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、当第1四半期連結累計期間において6億11百万円の四半期営業損失を計上し、過去5期にわたり営業損失を計上しております。これにより継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりますが、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められません。

当社グループは当該状況を解消すべく、グループ経営の効率化、子会社における営業力の強化及び大胆な戦略と一層の効率化・合理化を行うなど業績改善に努めていく所存であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,271,405	1,780,548
受取手形及び売掛金	1,493,187	1,398,615
商品有価証券	477,093	403,351
たな卸資産	437,145	550,996
その他	501,101	931,459
貸倒引当金	△21,513	△19,982
流動資産合計	5,158,418	5,044,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,427,075	1,401,153
土地	2,626,701	2,626,701
その他(純額)	498,745	544,108
有形固定資産合計	4,552,523	4,571,963
無形固定資産		
のれん	761,160	747,036
その他	102,276	94,736
無形固定資産合計	863,437	841,773
投資その他の資産		
投資有価証券	68,512	64,749
その他	766,557	429,831
貸倒引当金	△379,607	△44,294
投資その他の資産合計	455,462	450,286
固定資産合計	5,871,423	5,864,023
繰延資産	1,220	1,085
資産合計	11,031,062	10,910,096
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	697,348	648,837
短期借入金	940,458	893,148
未払法人税等	132,250	31,345
引当金	43,788	58,240
その他	417,913	915,645
流動負債合計	2,231,761	2,547,215
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	451,980	429,783
退職給付引当金	237,926	235,218
その他	840,816	828,744
固定負債合計	1,680,725	1,643,745
負債合計	3,912,486	4,190,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,636,065	1,636,065
資本剰余金	29,147,482	29,147,486
利益剰余金	△23,962,500	△24,535,626
自己株式	△4,646	△4,714
株主資本合計	6,816,400	6,243,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,796	△1,055
土地再評価差額金	△401,492	△401,492
その他の包括利益累計額合計	△399,696	△402,547
新株予約権	286,845	464,272
少数株主持分	415,025	414,200
純資産合計	7,118,575	6,719,134
負債純資産合計	11,031,062	10,910,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,692,322	2,048,571
売上原価	2,223,343	1,591,996
売上総利益	468,979	456,574
販売費及び一般管理費	601,179	1,067,875
営業損失(△)	△132,199	△611,300
営業外収益		
投資不動産賃貸料	4,846	3,122
未払配当金除斥益	5,508	—
その他	3,524	43,007
営業外収益合計	13,879	46,129
営業外費用		
支払利息	11,656	9,305
その他	4,231	3,540
営業外費用合計	15,887	12,845
経常損失(△)	△134,207	△578,016
特別利益		
固定資産売却益	7,412	4,216
賞与引当金戻入額	13,177	1,936
貸倒引当金戻入額	—	1,531
その他	450	8,105
特別利益合計	21,039	15,789
特別損失		
固定資産除却損	150	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	61,487	—
減損損失	1,454	2,996
その他	—	851
特別損失合計	63,092	3,848
税金等調整前四半期純損失(△)	△176,260	△566,076
法人税、住民税及び事業税	1,617	11,141
法人税等調整額	110,605	△3,462
法人税等合計	112,223	7,679
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△288,483	△573,755
少数株主利益	8,925	△629
四半期純損失(△)	△297,409	△573,126

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△288,483	△573,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,392	△2,851
繰延ヘッジ損益	△6,810	—
その他の包括利益合計	△12,202	△2,851
四半期包括利益	△300,686	△576,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△309,458	△575,782
少数株主に係る四半期包括利益	8,772	△825

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額
	上場株式等 投資事業	ロジスティ ックス事業	雑貨事業	産業機器関 連・雑貨製 造事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	—	1,528,391	830,517	333,413	2,692,322	—	2,692,322
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	652	54,207	54,859	△54,859	—
計	—	1,528,391	831,170	387,620	2,747,182	△54,859	2,692,322
セグメント利益又は損失 (△)	△60,359	35,154	183,647	12,010	170,452	△302,651	△132,199

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 △302,651千円には、セグメント間取引消去 36,026千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△338,677千円が含まれております。全社費用の主なものは、持株会社である当社の運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額
	上場株式等 投資事業	ロジスティ ックス事業	雑貨事業	産業機器関 連・雑貨製 造事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	—	1,214,603	605,059	228,908	2,048,571	—	2,048,571
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,071	588	166,455	173,114	△173,114	—
計	—	1,220,675	605,647	395,363	2,221,686	△173,114	2,048,571
セグメント利益又は損失 (△)	△30,266	△17,999	△160,885	50,287	△158,864	△452,436	△611,300

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 △452,436千円には、セグメント間取引消去 35,008千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△487,445千円が含まれております。全社費用の主なものは、持株会社である当社の運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。